

四季おりおり【世田谷の行事・イベント】

～行事・イベント情報については、お出かけのときにご確認ください～

せたがや見どころマップ

歩いて出会う 世田谷

24の 物語

アプリも一緒に
まちあるき



このQRコードからアプリを
ダウンロード！

公益財団法人 世田谷区産業振興公社
<http://www.setagaya-icl.or.jp>

街中花ざかり。
出かけたくなる
春爛漫の世田谷

春

2月中旬～3月上旬 次大夫堀公園 民家園 岡本公園 民家園	民家園のひな飾り	江戸、明治、大正、昭和初期の各時代のひな人形やひな道具などが飾られ、来園者の目を楽しませています。
4月中旬 JRA馬事公苑前けやき広場	世田谷の花展覧会	区内花卉農家による花苗、鉢物、切花などの展示のほか、園芸即売市も開催します。(秋(11月)も開催)
5月5日 (3年に1回・平成29年より5月開催に) 九品仏浄真寺	お面かぶり	浄真寺で3年に1度行われる行事。黄金の菩薩のお面をかぶった25名が、本堂と上品堂の間を厳かに往來します。
5月上旬～中旬 多摩川河川敷	多摩川ウォーク	新緑を楽しみながら多摩川沿いを歩きます。川の流れる音を聞きながら爽やかな風が感じられます。
3月 桜まつり(区内各所(3月下旬～4月上旬)) 4月 せたがや園芸市(世田谷公園(中旬)※秋も開催) 鯉のぼり(大蔵運動公園など(中旬～5月上旬))、二子玉川花みず木フェスティバル(兵庫島公園(29日)) 5月 次大夫堀公園園田植え(下旬)、玉川大師のお砂ふみ大祭(21～23日※10月も同日開催)		

その他の
イベント

区民まつりに花火。
一日楽しい
世田谷の夏

夏

6月中旬 JRA馬事公苑前けやき広場	世田谷区夏季農産物 品評会	区内農家が丹精込めて栽培した野菜や果実などの品評展示を行うほか、新鮮な夏野菜の即売市などが行われます。
7月中旬 世田谷代官屋敷周辺	せたがやホテル祭りと サギ草市	代官屋敷内での美しいホテルの鑑賞イベントのほか、区の花サギソウや植木の販売を同時に開催します。
8月第1日曜と前日 世田谷区民会館、 世田谷区役所中庭、若林公園	せたがや ふるさと区民まつり	区民手づくりの催し物を連日開催。若林公園では全国30ヶ所以上の交流自治体の物産展も並びます。
8月中旬 二子玉川緑地運動場	たまがわ花火大会	世田谷の夏の風物詩。毎年異なるテーマを設定し、趣向を凝らした花火が川面を彩ります。
7月 下北沢音楽祭(下北沢駅周辺(月上旬)) 8月 須賀神社の湯花神事(2日)、下北沢阿波おどり(下北沢駅北口周辺(中旬))、三茶ランフェスティバル(三軒茶屋駅周辺(下旬))		

文化祭、秋祭り、
世田谷の秋は
祭りで活気づく

秋

その他の
イベント

9月第2土曜 奥澤神社	大蛇のお練り	厄除けを祈念し、わらで作られた約10mの大蛇が奥沢を練り歩き、社殿に奉納されます。(10時～12時30分)
9月下旬～10月上旬 世田谷線沿線商店街	世田谷線つまみぐい ウォーキング	世田谷線沿線(三軒茶屋～下高井戸間)の商店街でつまみぐいをしながら、ウォーキングを楽しみます。
10月中旬 三軒茶屋駅・ キャロットタワー周辺・ 近隣商店街	世田谷 アート タウン 三茶de大道芸	三軒茶屋の街中がステージ。国内外の多数の大道芸人が、街角や大通りでパフォーマンスを繰り広げます。
11月 駒沢オリンピック公園	世田谷246 ハーフマラソン	国道246号を含む21.0975kmコースをランナーが走ります。
9月 桜新町ねぶた祭(第2土曜)、世田谷芸術百華(区内各所(月上旬～11月))、世田谷八幡宮の奉納相撲(中旬)、 世田谷区総合文化祭(中旬～10月中旬)、次大夫堀公園稲刈り(9月末～10月上旬) 10月 雑居まつり(羽根木公園(月上旬))、萩・世田谷幕末維新祭り(松陰神社周辺(下旬))、 せたがや産業フェスタ(区役所中庭・区民会館) 11月 動物フェスティバル(11月上旬)、世田谷の花展覧会・世田谷区農業祭(世田谷公園(中旬))		

冬の伝統行事を
巡りながら
新年を迎える

冬

その他の
イベント

12月15、16日・1月15、16日 ボロ市通りと周辺	世田谷のボロ市	楽市を起源とする市で、世田谷の冬の風物詩。骨董品や地方物産、植木など約700店が並び、賑わいます。
2月節分 (平日の場合、その前の土日) 真龍寺・下北沢駅周辺	しもきた天狗まつり	真龍寺の巨大な天狗のお面と「福は内」の豆まきの列が、商売繁盛・家内安全を祈り商店街を練り歩きます。
2月節分 喜多見氷川神社	鬼問答と大国の舞	社殿で神官と鬼の問答。鬼が負けて逃げた後、恵比寿様、大国様がめでたい舞を奉納いたします。
2月中旬～3月上旬 羽根木公園	せたがや梅まつり	約650本の梅が見頃となる羽根木公園。休日には茶席等が設けられ、梅にちなんだ品々の販売などが行われます。
12月 障害者週間記念事業区民ふれあいフェスタ(区役所周辺(月上旬)) 1月 民家園の元日開園(次大夫堀公園 民家園・岡本公園 民家園(1日))、代田餅搗き(代田八幡神社(下旬)) 2月 下北沢演劇祭(下北沢駅周辺(月上旬～下旬))、森巖寺の針供養(8日)		

世田谷に出会う、24の物語

世田谷区から探した、物語を感じる24の場所。通り過ぎていた道、見過ごしていた街並み、なんだろうと思っていたもの。今の風景のなかにかつてそこに息づいていたワンシーンを想像してみましょう。あたりまえのように思っていた街は、何世代にもわたって暮らしてきた人々の、舞台のように思えてきます。

モデルコースで歩いてみよう!

S スタート G ゴール

3.2km 距離の目安

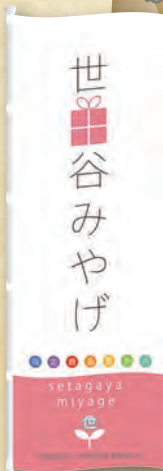
もらってうれしい
世田谷みやげ



詳しくは
こちらから



歩いている途中、店先に「世田谷みやげ」ののぼりが見えたら、ぜひお立ち寄り下さい。



(公財)世田谷区産業振興公社では、世田谷区商店街連合会と一緒に、世田谷区内のお店のイチオシ商品を「世田谷みやげ」として指定しています。自分へのごほうびや、家族・友人へのお土産として、ぜひ「世田谷みやげ」をお買い求めください! 「世田谷みやげ」が掲載されたパンフレットは、世田谷区の施設などで配布しています。

商店街はここにありませす!



マップの道路の背景に、赤い色がついていたなら、そこは商店街です。お休み処や世田谷みやげを探してみてください。

その他の凡例…… ☒ 交番 ☒ トイレ ★ 高齢者身近なお休み処

物語1 烏山寺町

大正末期、ススキの原に出現した小京都

物語2 北烏山九丁目屋敷林

市民緑地 千歳烏山
世田谷の旧家に魅了した「巨大白菜」

物語3 世田谷文学館

文士達の面影探す文学館

物語4 蘆花恒春園

「粕谷ほど好い処はありません」

物語9 成城の街並み

雑木林に描かれた理想の学園都市物語

物語10 つりがね池

村人を救うため池に身を沈めた和尚さん

物語11 東京農業大学

「食と農」の博物館
今も生まれ続ける食と農の物語

物語12 用賀プロムナード

美術館へ続く道はすでに(いらか道)アートの始まり

物語17 次大夫堀公園

世田谷の寒り支えた知恵と信念の用水堀削

物語18 慶元寺

喜多見の地に見る「江戸」の名の由来

物語19 静嘉堂文庫美術館

森の洋館に見る岩崎父子の想い

物語20 兵庫島公園

憩いの地に残るある戦いの記憶

物語21 等々力溪谷

太古から人の通う溪谷を抜けていく風

物語22 野毛大塚古墳

日本最大級の帆立貝形古墳

物語23 浄真寺

河碩上人の願いこもった9体の仏様

物語24 奥澤神社

疫病を鎮めて見守るわらの大蛇

物語7 羽根木公園

55本から始まった世田谷の梅の名所

物語8 演劇の街下北沢

表現者たちの息吹を感じるシモキタの街

物語5 豪徳寺

山門の猫が招いた不思議な縁

物語6 世田谷城址公園

空堀と土塁の起伏は中世の世田谷に城があった証

物語15 大山道

246は古き旅路の名残 大山参りの旅人気分で

物語16 駒繫神社

頼朝が愛馬を繋ぎ武運を祈った神社

物語13 駒沢給水塔

弦巻に立ちつくす王冠いただく水の城

物語14 長谷川町子美術館とサザエさん通り

マンガのなかの世田谷区民「サザエさん」

一緒に使ってまちあるきをもっと楽しく!

スマートフォン用アプリ

世田谷ぶらっと

あなたの身近な魅力発見!

「世田谷ぶらっと」でできる5つのこと

- ①あなたの身近にある世田谷の魅力に、出会えます。
- ②あなたが見つけた世田谷の魅力を、みんなとシェアできます。
- ③毎日届くトピックからお出かけのきっかけが、手に入ります。
- ④「もらってうれしい「世田谷みやげ」」が見つかります。
- ⑤世田谷区内を巡る様々な散策コースが、楽しめます。

表紙のQRコードからダウンロードしてお楽しみください!



〈ダウンロード無料〉
iOS,Android両対応
※利用に伴い発生する通信料金等の費用は自身のご負担となります。

世田谷区ホームページ
「世田谷の魅力」



世田谷区にお住まいの皆様、そして世田谷区を訪れる皆様に、様々な世田谷の魅力に関する情報をまとめて掲載しています。観光マップ集もありますので、ぜひ一度のぞいてみてください。

【世田谷の魅力】

<http://www.city.setagaya.lg.jp/miryoku/index.html>



このステッカー表示のあるスポットの近くで利用できます。



1 蕎麦屋の屋号「〇〇庵」
発祥のお寺 称往院

天明飢饉の折り、称往院の末寺であった道光庵の庵主は、社会事業の一環として蕎麦を振舞ました。その蕎麦は大変評判となり、それ以来その評判にあやからうと「庵」のつく屋号を用いる蕎麦屋が多くなりました。現在境内にある「円光大師巡礼所十八番」という石柱の右面に、「蕎麦の境内に入るを許さず」という文字がありますが、この石柱は、あまりの繁盛ぶりが修行の妨げになるとして、天明6年に建立されたものです。

お寺の門前に教えを得ながら歩くのも楽しい。

日本女子体育大学のグラウンド



2 烏山つつじ緑地

久留米躑躅(つつじ)を中心に、いろんな種類のつつじを楽しむことができます。■北烏山6-16-8



世田谷物語 2 北烏山九丁目屋敷林市民緑地

烏山病院に面したバス通り。バスの停留所の後に、ケヤキの大木が見えます。ここは300年以上続く世田谷の農家の庭です。その一角に「下山千歳白菜発祥の地」なる石碑があります。

昭和の初め、下山さんが優良な株のみの交配を繰り返し、病気に強い白菜が誕生。その大きさは今の白菜の2〜3倍。戦後の食糧難にも注目され全国で生産されましたが、時は流れ昭和30年代には姿を消しました。

近年、幻の白菜復活への地元の声に、ある種苗会社が保存していた種を発見。奇跡的に復活した白菜は、わずかながら収穫を続けています。

■北烏山9-1-38 「千歳烏山」駅下車7分
9:00~17:00(11月~3月は16:00まで)
休:年末年始(12/29~1/3)

世田谷物語 1 烏山寺町

北烏山2丁目から6丁目にかけて、寺町通りを中心に「烏山寺町」と言われる一帯があります。見渡すと、あちこちにお寺の屋根や塀のある、世田谷の小京都とも呼びたい風景です。

関東大震災(大正12年)を契機として、当時の東京市内にあった寺院が、都市計画事業に伴う移転を余儀なくされました。その受入先のひとつとなったのが、当時、武蔵野の雑木林などが広がっていた北多摩郡千歳村(現在の烏山地域を含む一帯)。浅草や築地、麻布辺りの寺院が、大正末期から昭和初期にかけてこの地に移ってきたことで、各寺の古い由緒とともに烏山寺町が形成されたのです。



3 念仏堂の
釈迦涅槃石像



烏山神社の向かい、念仏堂の傍らに、区内でも珍しい釈迦涅槃石像があります。

4 千歳烏山駅前

いつも賑やかな千歳烏山の駅前。商店街には思わず足を止めてしまう個性的なお店が軒を連ねています。



世田谷物語 3 世田谷文学館

ここ世田谷には多くの作家達が住んでいたのを知っていますか? 彼らは世田谷の各地と多様に繋がりをもち、それぞれに交友を繰り広げ、喜び泣き、優れた文学を編み出しました。

文士村と言ってもいほどの豊かな人脈図が形成され、作家達が生んだ名作をより深める、数々の物語がそこにも展開されたことでしょう。徳富蘆花、北原白秋、平塚らいてう、井上靖、遠藤周作、坂口安吾、萩原朔太郎、志賀直哉、横溝正史... 枚挙にいとまのない世田谷ゆかりの作家や作品が、ぎゅっと溢れんばかりに一堂に会した文学館です。

ここでは、所蔵する世田谷ゆかりの作家達の原稿・初版本、書簡・遺品等の膨大な資料を常設展で紹介、様々な企画展や催しを開催しています。

■南烏山1-10-10
10:00~18:00(入館17:30)
休:月他
「芦花公園」駅下車5分
(有料)



世田谷物語 4 「粕谷ほど好い処はありません」



陽の光がきらきらと美しい竹林を抜けて、林を曲がっていく小道の先にかやぶき屋根の家があります。明治40年、自然を愛した一人の作家がこの粕谷の地を選び住みつきました。小説『不如帰』(ほととぎす)の著者で明治~大正の文豪、徳富蘆花は亡くなるまでの20年間、この地で晴耕雨読の日々を送りました。著書『みみずのたはこと』に当時の粕谷の様子や土との生活が描かれています。「粕谷ほど好い処はありません」と書いた蘆花は、夫人と共に園内の墓所で永遠の眠りに付いています。

■粕谷1-20-1 「芦花公園」駅下車15分



1 賀川豊彦記念
松沢資料館

上北沢駅からすぐ、コンクリート造の端正な建物は、社会の底辺で苦しむ人々の救済に尽力した賀川豊彦の記憶を留めた資料館になっています。彼はまた、キリスト教社会運動家としての一面に加え、ベストセラーとなった小説『死線を越えて』の著者としても有名です。この地との出会いは、当地の村の人が、当時有名だった賀川豊彦を迎えることで村の活性化を願ったという縁からだとか。資料館には昭和6年造の礼拝堂が復元され、中庭「光の庭」の白く輝く空間の美しさはたえ様ありません。

■上北沢3-8-19 10:00~16:30(入館16:00)
休:日・月他(有料)

2 桜並木

上北沢駅から南側には桜並木が続いています。



3 大宅壮一文庫

評論家・大宅壮一の遺志により、明治から現在に至る、膨大な雑誌の蔵書を公開しています。

■八幡山3-10-20 開館10:00~18:00
休:日・祝他(有料)



4 希望丘公園

公園にある壁泉は、付近に爽やかな水音を聞かせてくれます。

■船橋7-9-2 (※平成29年度まで一部工事中)

5 宝性寺

室町時代の開創。年間を通じて豊かな緑に包まれ、自然と歴史を感じさせるたたずまいです。

■船橋4-39-32



世田谷線沿いに散らばる歴史の断片をたどる



1 世田谷線旧車両

人気を誇った世田谷線の旧車両。丸味を帯びた緑色の車体には、東急世田谷線「宮の坂」駅となりの、宮坂区民センターで出会えます。■宮坂1-24-6



2 世田谷八幡宮

源義家が戦勝を祝い勳した由緒を持つ八幡宮。境内には奉納相撲に使う土俵があります。■宮坂1-26-3



6 空堀と土塁の起城は中世の世田谷に城があった証

世田谷城址公園

かつて戦国時代には、現在の豪徳寺を含む丘の上に、土塁に守られた館がありました。

室町時代から「世田谷御所」と呼ばれた足利氏一族の名門、吉良氏はここから長く世田谷を治めてきました。いよいよ戦国の世となると、北条氏と姻戚関係結び、善政を行いました。北条氏が滅亡すると、その運命を共にしました。

今のボロ市の元となる楽市が開かれたのもこの頃。世田谷に伝わる「さぎ草悲話」は、常盤姫と城主頼康をめぐり、この世田谷城を舞台に繰り広げられる物語です。

■豪徳寺2-14-1 「宮の坂」駅「上町」駅下車5分



5 豪徳寺

赤い首輪の白い猫。豪徳寺が発祥という「招き猫」の由来話を、山門を見つめながら思い起こします。

徳川家康に認められ、彦根藩の基盤を固めた井伊家2代直孝が、ある日通りかかった荒れ寺。なぜか門前で猫が手招きします。不思議に思い門内に入ると突如雷鳴が。猫のおかげで直孝は雷雨を避け、そこで住職の法話を聞いたのが縁で寺は井伊家の菩提寺として栄えました。井伊家の墓所には、日本の開国に尽くした大老・井伊直弼が眠っています。仏殿横の招福殿に奉納された大小の招き猫たちが佇む、穏やかな豪徳寺の境内です。

■豪徳寺2-24-7 「宮の坂」駅下車3分

山門の猫が招いた不思議な縁



3 松陰神社 吉田松陰墓所

安政の大獄でこの世を去った吉田松陰。千住の回向院に埋葬されていましたが、門弟の高杉晋作、伊藤博文らが毛利家抱屋敷のあったこの地に改葬しました。現在も境内の墓所には花が絶えません。

■若林4-35-1



4 常盤塚

吉良氏の重臣で奥沢城主大平氏の愛娘常盤姫は、吉良頼康に望まれ側室となり、子を授かりました。しかし、これを妬んだ他の側室達にいわれなき不義を言い立てられ、城から逃れるも、上馬の野で討たれました。常盤の愛鷲が奥沢城に文を運ぶ途中、落ちた地からサギソウが咲いたといわれます。

■上馬5-30-19

5 代官屋敷

ボロ市通りに面した立派な門が目印。江戸時代の中頃、世田谷領を治めた代官、大場家の私宅・大場代官屋敷があります。また、同じ敷地には区立郷土資料館があります。

■世田谷1-29-18



羽根木公園から、緑道をたどり“シモキタ”へ



世田谷物語 7

55本から始まった世田谷の梅の名所

羽根木公園

毎年2月に行われる「梅まつり」で知られる、世田谷の梅の名所。

昔は六郎次という鍛冶屋が住んでいたのが「六郎次山」や、東武鉄道の創業者根津嘉一郎が所有していたので「根津山」などと呼ばれた所です。今でこそ見事な梅林は、昭和42年に当選した区議会議員55人が戦後の荒廃する公園に植えた、55本が始まりです。今では約650本以上、梅の咲く頃は、陽の当たる斜面に様々な色と香りを楽しませてくれます。公園には子ども達が自己責任で自由に遊べるプレーパークもあり、元気な声でいっぱいです。

■代田4-38-52 「梅ヶ丘」駅3分、「東松原」駅5分



5 真龍寺 (道了尊)

本堂の手前では高さ約3メートルの天狗のお面が出迎えてくれます。このお寺の守護神は天狗。威徳と神通力を持ち、厄を除いてくれるといわれています。■北沢2-36-15



1 北沢川緑道

足元では四季の草花が咲かせせらぎもある約4キロの散歩道。環七から代沢3・4丁目までは、春に約150本の桜が満開になります。



3 森巖寺

徳川家康の次男、秀康の位牌所として建立。古くから「淡島様」、「淡島の灸」でも有名です。2月には針供養があります。■代沢3-27-1



2 北沢八幡神社

大きな石鳥居をくぐると遊具もある広い境内。世田谷七沢八社随一の正八幡宮です。秋の例大祭にはたくさんのお神輿が出て賑わいます。■代沢3-25-3



8 演劇の街下北沢

下北沢は多様なカルチャーを発信する街です。個性的な飲食店や、ファッション、雑貨のお店が建ち並ぶ一方で、演劇の街という一面も持っています。

有名劇団が一度は舞台を踏んだという本多劇場をはじめ、いくつもの小劇場が駅からそう遠くない一帯に点在しています。毎年2月の1ヶ月間は、北沢タウンホールや本多劇場を中心に下北沢演劇祭が開催され、街全体が演劇一色。プロの劇団に加え、アマチュア劇団、公募劇団などが参加し、多様なパフォーマンスを繰り広げます。一般参加の区民上演グループは、経験に関係なく誰でも応募できます。この機会に、自分の隠れた才能を開花させてみませんか? (本多劇場) ■北沢2-10-15 「下北沢」駅下車2分 (有料)

表現者たちの息吹感じるシモキタの街

世田谷物語 8

成城の街並みをのんびり散歩

理想の学園都市物語



世田谷物語 9

成城の街並み

世田谷の閑静な住宅街というイメージを代表する「成城の街並み」が誕生するまでも物語があります。

大正の頃、「理想の学園都市を作ろう」と、牛込の成城学校の小原主事が土地を探していました。小田急線の駅の計画もあり、父兄たちと共に構想を練りました。当時まだ荒地と雑木林ばかりだったこの地に用地を購入し、大正14年にはバラック建ての校舎が竣工。学校関係者が暮らし始め、街の基盤が作られました。そこに、学園の生徒たちがイチョウの苗を植え、いち早く居を構えた柳田國男が「生垣協定」を指導し、北原白秋ほか多くの文化人が次々と暮らし始めました。

こうして現在へと通じる成城の趣が育っていったのです。

1 世田谷トラストまちづくりビジターセンター

環境共生・地域共生のまちづくりを進める「世田谷トラストまちづくり」の活動拠点。展示スペースや子どもコーナーなど、気軽に立ち寄れます。
■成城4-29-1 9:00~17:00 休:月・火曜と年末年始(12/29~1/3) ※ただし月・火曜が祝日の場合は開館し、次の平日が休館



2 神明の森みつ池 特別保護区

区内で最も豊かな自然が残されている森です。清らかな湧水、天然のゲンジボタルが生息しています。自然観察会でのみ公開。
■成城4-20



3 成城五丁目猪股庭園

武家屋敷風の趣がある名建築、「旧猪股邸」。主屋は近代数寄屋造りの大家、吉田五十八の設計によるもの。簡素平明な和室や回遊式の日本庭園も見どころです。
■成城5-12-19 9:30~16:30 休:月他



4 富士見橋

関東の富士見100景にも選ばれた富士見スポット。

つりがね池

祖師谷の住宅街の中に、ひょうたん型の池があります。今は小さく、湧く量も僅かですが、かつては尽きることない豊かな湧水池だったといわれています。

そこに残る伝説。昔々、日照りばかりの毎日が続き、田畑は乾き作物は枯れ、村人達は困り果てました。雨乞いをして雨は降らず、寺の和尚も一心に祈りました。そんなある日、待望の大雨が降りました。村人は喜び、寺を訪れましたが和尚はおらず、寺の釣鐘もありません。和尚は村人を救うため、鐘を抱いて池に身を沈めたのです。以来、池は枯れずの池となったそうです。

■祖師谷5-33-11「成城学園前」駅下車20分



村人を救うために身を沈めた和尚さん



7 祖師谷公園

緑豊かな親子連れに人気の公園。中央に仙川が流れる。憩いの場です。
■上祖師谷3-22

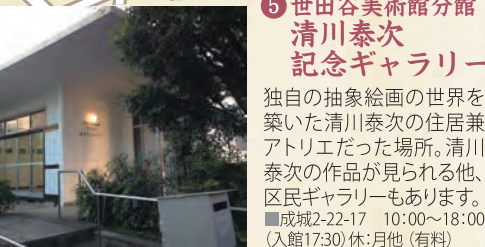


6 仙川沿いの道

沿道をのんびり歩くのもいいですが、自転車でゆったりと行くのにぴったりです。

5 世田谷美術館分館 清川泰次 記念ギャラリー

独自の抽象絵画の世界を築いた清川泰次の住居兼アトリエだった場所。清川泰次の作品が見られる他、区民ギャラリーもあります。
■成城2-22-17 10:00~18:00 (入館17:30) 休:月他 (有料)



砧公園に世田谷美術館、そこへ続くいらか道

今も生まれ続ける食と農の物語

東京農業大学「食と農」の博物館

世田谷通りを挟んだ東京農業大学の向かい、けやき広場に建つ四角い建物。

明治24年、榎本武揚が徳川育英会育英堂農学科を設立、そこから日本初の私立農学校「東京農学校」へと発展、現東京農業大学の前身となりました。「実学主義」を掲げる当大学が、食と農を「見る・聞く・触る・感じる」をコンセプトに設立したのが体験型の「食と農」の博物館です。農大各学部の研究や、卒業生の蔵元の地酒などを紹介しています。隣接する「バイオリウム」ではマダガスカルを中心とした珍しい動植物も見学できます。
■上用賀2-4-28 10:00~17:00(時期により変動) 休:月他「経堂」駅下車20分

5 用賀駅前

オフィスビルが建ち並び、スーツ姿のビジネスマンをよく見かけます。

6 砧公園

広々とした芝生広場は、家族で過ごす休日にとってもいいです。
■砧公園1-1



7 総合運動場

砧公園を抜けると、体育館や温水プールがある運動公園があります。■大蔵4-6-1

美術館へ続く道はすでにアートの始まり



12 用賀プロムナード (いらか道)

用賀駅北口から砧公園、世田谷美術館まで続いている遊歩道。その一部は「いらか道」と呼ばれ、瓦が敷き詰められた道路になっています。

昭和61年に開館した世田谷美術館。その難点は、駅から遠いことでした。そこで、用賀駅からの約1キロを楽しみながら歩けるように、様々な仕掛けや演出を施したこの道が計画されました。完成までには、沿道住民や関係機関との綿密な話し合いが繰り返されたそうです。

鬼瓦が点在し、足元には百人一首の句が刻まれています。区内初の道路に造られた親水空間など見どころいっぱい。第1回地域風景資産に選定され、魅力ある街並みに貢献しています。

1 福昌寺

経堂駅から、学生や買い物の人たちで賑わう農大通りを一本入ると、見えてくるお寺。寛永元年(1624)、幕府の医師でもあった漢方医が、自分の屋敷に僧を迎えて寺としたのが始まりです。
■経堂1-22-1

2 千歳通り

春は桜、新緑の頃には緑のトンネルになる通りです。朝に歩くと特に気持ちがいいですよ。



3 桜丘すみれば自然庭園

春には自生するスミレに出会える、都会の中でほっとできるお庭です。
■桜丘4-23-12 9:00~17:00(時期により変動) 休:年末年始



4 世田谷美術館

世田谷ゆかりの作家や、アンリ・ルソーなど約1万6千点の作品を収蔵し、様々な展覧会などを開催。お土産にはオリジナル商品「ルソーキャンディー」があります。砧公園を一望できるレストランもあります。
■砧公園1-2 10:00~18:00 (入場17:30) 休:月他 (有料) ※2017年7/3~2018年1/12改修工事のため休館



駒沢大学駅と桜新町駅周辺の見どころ散策



① 駒沢緑泉公園

国道246号からそれほど遠くない緑豊かな公園。落葉樹、常緑樹の林を抜ける小径を歩くと、住宅街であることを忘れてしまいそうです。■駒沢3-19-8



② 世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ

洋画家・向井潤吉がアトリエ兼自宅にしていた建物。民家を描き続けた作品が展示されています。■弦巻2-5-1 10:00~18:00(入館17:30) 休:月他(有料)



©長谷川町子美術館

マンガのなかの世田谷区民「サザエさん」



長谷川町子美術館とサザエさん通り

桜新町駅から続く商店街では、サザエさんの姿をあちこちで見かけます。サザエさん通りの商店街の先に、長谷川町子美術館があります。昭和21年から新聞に連載、戦後の日本の平凡な家庭を見事に描いた漫画「サザエさん」。作者の長谷川町子は、日本で最初の女性漫画家といわれています。美術館では、この地に40年住み、描き続けた漫画の原画や、一方で収集してきた美術品を展示。シャガールや東山魁夷、平山郁夫の作品、「サザエさん」や「いじわるばあさん」といった懐かしい漫画たちが待っています。■桜新町1-30-6 10:00~17:30(入館17:00) 休:月他「桜新町」駅下車7分(有料)

駒沢給水塔

弦巻2丁目。建物の間から見える、小高い丘に建つ古城のようなその姿の正体はなんでしょう。昔の水道は、取水地からの水を、高台の給水塔へ蓄え、それを高低差を利用して配水していました。駒沢給水塔もそのひとつ。大正13年に「近代水道の父」中島鋭治博士によって建てられ、多摩川の水を標高45mの弦巻から、当時の渋谷町へと送りだしていました。珍しい鉄筋コンクリートの円筒の壁にめぐらせた12の付け柱、その頭部に宝石の如く12個の電球を載せています。現在でも災害時の応急給水拠点として水を蓄えています。施設の管理上、敷地内への立ち入りはできません。■弦巻2-41-5「桜新町」駅7分



世田谷物語 13

弦巻に立ちつくす王冠をいただく水の城

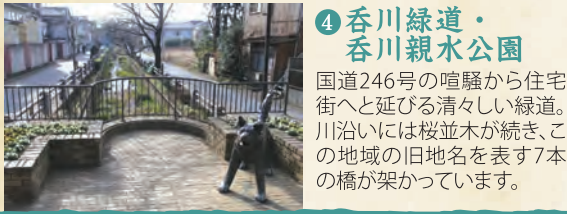


世田谷物語 14



③ 駒沢オリンピック公園

のびのびとスポーツが楽しめる公園です。東京オリンピックでは、第二会場として4種目が行われました。■駒沢公園1-1



④ 呑川緑道・呑川親水公園

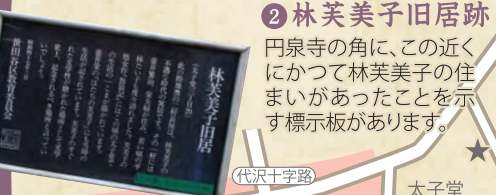
国道246号の喧騒から住宅街へと延びる清々しい緑道。川沿いには桜並木が続き、この地域の旧地名を表す7本の橋が架かっています。

三軒茶屋駅から巡る旅人の道、もののふの足跡



① 門泉寺

今から400年以上も前、賢恵僧都の夢に現れた聖徳太子のお告げにより、この地に本堂と聖徳太子堂を建て、太子像を祀ったといわれています。このお堂が、付近の「太子堂」という地名の由来となりました。■太子堂3-30-8



② 林芙美子旧居跡

門泉寺の角に、この近くにかつて林芙美子の住まいがあったことを示す標示板があります。



③ 目青不動(教学院)

不動堂には江戸五色不動のひとつ目青不動尊が安置されています。■太子堂4-15-1



④ キャロットタワー/世田谷文化生活情報センター

生活工房、世田谷パブリックシアター等があり、展覧会や舞台公演等を開催する、区のランドマークです。■太子堂4-1-1



駒繫神社

世田谷物語 16

蛇崩川緑道沿い、大きな樹木が包み込むようにしてある小高い神社の森があります。源頼朝が奥州の藤原泰衡の討伐(1189年)に向かう途中この地を通過するにあたり、むかし祖先の源義家とその父頼義が奥州征伐(前九年の役)へ赴く際、この神社で武運を祈ったことを回想して、自らも戦勝祈願をしたとの伝説があります。その時愛馬を境内の松の木に繋いだことが社名の由来となっています。大国主命を祀るので、昔は子の神と親しまれていました。また、近隣に芦毛塚もあり、頼朝の愛馬伝説はこの辺りの「下馬」という地名へと繋がっていきます。■下馬4-27-26「三軒茶屋」駅15分

大山道

現在の国道246号、及び世田谷通りは、かつての大山道で、江戸から丹沢の霊山大山に参詣する道。雨乞いや商売繁盛にご利益ありと信仰されました。近場の霊場としても大山参りは人気で、落語にも登場します。赤坂見附から青山を通り、池尻、三軒茶屋、用賀、二子玉川へと抜ける道ですが、三軒の茶屋があったという三軒茶屋の三叉路には、今、道しるべが復元されています。

通り沿いの池尻稻荷神社には、良い水が枯れることなく湧き出る「薬水の井戸」があり、病にもご利益ありと、大山参りの旅人にはなんととも有難い飲み水でした。



世田谷物語 15

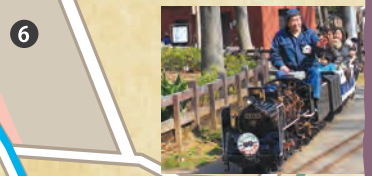


国道246号は古き旅路の名残 大山参りの旅人人気分での名残



⑤ IID世田谷ものづくり学校

廃校の校舎を利用し、ものづくり体験ほか地域交流イベントなどを開催。和めるカフェもあります。■池尻2-4-5 11:00~19:00 休:月他



⑥ 世田谷公園

芝生広場では子ども達の笑い声が絶えません。ミニSLは公園の人気者です。■池尻1-5-27

ミニSL運行日 水・土・日・祝日・小学校長期休業日 10:00~16:00(時期により変動) ※上記以外は運休 雨天/強風日・年末年始も運休(有料)

頼朝が愛馬を繋ぎ 武運を祈った神社

喜多見駅から世田谷の緑多き一帯に行く

① 成城三丁目緑地

マンションの向こうに見える緑に覆われた崖地。多摩川がおよそ10万年をかけて削った国分寺崖線の一部です。現在も湧水が流れ、「まちの里山」として親しまれています。

■成城3-16-38

次大夫堀公園

水利の乏しい土地へ水を流す、ある奉行の知恵と信念の物語。今から400年以上も前、多摩川の水を引き、下流の六郷領、世田谷領一帯への灌漑用水掘削を命じたのは徳川家康でした。命を受けた家臣こそ小泉次大夫吉次。農民達による昼夜分かたずの苦しい工事でしたが、一説によると次大夫は知恵を絞り、女性を共に働かせてみたとのこと。すると工事は一気にはかどり、このことから「女堀」とも呼ばれるようになったといわれています。途中関ヶ原の合戦による中断があるも、15年の歳月を経て六郷用水(次大夫堀)が完成。次大夫73歳のときです。現在、この公園には、次大夫堀が復原されています。また、公園内には江戸時代から明治時代の古民家が移築された民家園があり、往時の面影を今に伝えています。

世田谷物語 17

世田谷の實り支えた知恵と信念の用水掘削

■喜多見5-27-14 9:30~16:30 休:月他(次大夫堀公園民家園) 「成城学園前駅」「喜多見駅」下車15分

② 野川

緑多いこの一帯を流れる野川。喜多見駅の脇から二子玉川まで、のどかな川沿いには野鳥も見つけられます。



③ 喜多見氷川神社

本殿まで続く、神社の森が覆う参道。途中でくぐる石鳥居は、実は区内最古(1654年)。この地域をずっと見守ってきた風格が漂う神社です。写真は節分の日に行われる「鬼問答と大國の舞」。

■喜多見4-26-1



氷川神社の狛犬さん

世田谷物語 18



慶元寺

参道を見下ろす武人の像。源頼朝に鎌倉幕府樹立への貢献が認められ、喜多見を含む武蔵に領地を賜った江戸太郎重長です。慶元寺の開基ですが、当初寺が建立されたのは江戸城内の紅葉山辺り。かつて江戸氏は今の皇居一帯に在し、居館を構えていました。太田道灌が江戸城を築く際、微発され喜多見に移ったと伝わっています。後に徳川家康に仕えると、江戸姓を遠慮し、喜多見氏を名乗りました。そして今、平安末からの名門江戸(後の喜多見)氏一族は、慶元寺の墓所に静かな時を過ごしています。

■喜多見4-17-1 「喜多見駅」下車20分

「江戸」の名の由来

④ 稲荷塚古墳緑地



一見ただの小さな公園かと思いきや、中央のこんもりとした小山は古墳なのです。発掘された大刀などの副葬品は、区立郷土資料館に展示されています。

■喜多見4-7

世田谷区立砧工房分場 ⑤ キタミ・クリーンファーム

知的障害のある方たちが大事に育てた水耕栽培のサラダ菜が自慢。朝採れの世田谷産野菜はいかがですか。

■喜多見7-3-1 休:土・日他



⑥ 荒玉水道道路

世田谷通りを抜け、南西へと一直線に貫く道は、「水道道路」と呼ばれる道。砧浄水場へと続いています。



二子玉川駅から岡本静嘉堂緑地へ

静嘉堂文庫美術館

世田谷物語 19

多摩川が削った「国分寺崖線」沿いの岡本の森に、気品ある洋館と美術館があります。

大正13年、三菱4代目の岩崎小彌太は、2代目の父、彌之助の霊廟の傍に、父子二代で収集した貴重な図書や美術品を収蔵する文庫を建てました。岩崎父子は、当時の日本が西洋文化に傾倒する余りの東洋文化軽視の風潮を危惧し、その収集に力を注いだのです。現在の収蔵品は、約20万冊の和漢の古典籍、約6,500点の東洋の古美術品。「俵屋宗達筆 源氏物語関屋・滯標図屏風」「曜変天目」などの国宝や、貴重な文化財ばかりです。収蔵品は、美術館にて年4回の展覧会を通じて一般公開されています。

■岡本2-23-1 静嘉堂文庫美術館10:00~16:30 休:月他(有料)

森の洋館に見る岩崎父子の想い

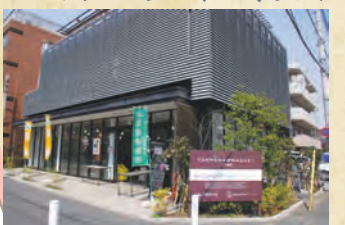


① 瀬田農業公園 (フラワーランド)



ペゴニア、スミレ、パンジー、朝顔、サギソウなど、四季の花々が咲く住宅街のオアシス。
■瀬田5-30-1 8:30~18:00 (時期により変動) 休:年末年始他

② JA 東京中央 ファーマーズマーケット二子玉川



地元農家が作った新鮮野菜、園芸品を直売しており、午前中に売り切れてしまうこともあります。
■鎌田3-18-8 休:月他 直売所:9:00~16:30



⑤ 岡本公園

公園の一角にある民家園は、農家の屋敷構えを再現。古民家では囲炉裏を囲みながらくつろげます。

■岡本2-19-1 9:30~16:30 休:月他(岡本公園民家園)

ある戦いの地に残る記憶

世田谷物語 20



兵庫島公園

花火大会の開催地でもある憩いの公園に伝わる悲話。南北朝時代の正平13年(1358)、新田義貞の次男、義興とその一行は鎌倉に向かう途中、足利方に通じる者たちの謀略で、多摩川の矢口の渡しから船に乗り込みました。船は底に穴を開けられ、岸からは矢が射かけられました。義興は自害、剛の者と聞こえた由良兵庫助ら従者達も壮絶な最後を遂げました。この兵庫助の遺体が流れ着いたと伝わるのが兵庫島です。「矢口の渡し」については、大田区の矢口とも、もっと上流の稲城市矢野口である等、諸説あります。公園のその名に、思いがけぬ歴史絵巻の一片を垣間見ることができます。

■玉川3-2-1 「二子玉川」駅下車3分



③ 玉川大師

本堂下に約100mの地下参道があります。右の壁を触り真の闇を進めば、四国・西国札所の各本尊を順拝し、同じご利益が授けられると伝えられています。

■瀬田4-13-3

④ 二子玉川公園

区立公園初の本格的な日本庭園には、登録有形文化財の「旧清水家住宅書院」を復元。天候が良ければ眺望広場から富士山を眺めることもできます。

■玉川11-16-1





① 五島美術館

実業家・五島慶太の収集した『源氏物語絵巻』など国宝を含む膨大な古美術品を収蔵。国分寺崖線の自然を生かした庭園も一見の価値があります。
■上野毛3-9-25 10:00~17:00(入館1630)
休:月他 ※要確認(有料)



太古から人の通う
溪谷を抜けていく風

等々力溪谷 21

この23区内唯一の溪谷への降り口は、赤い「ゴルフ橋」が目印です。大河多摩川の浸食で作られた崖の連なり「国分寺崖線」のその南端を、さらに谷沢川が削り、鬱蒼と樹林に囲まれた溪谷が形づくられました。崖面からは古墳時代末期の横穴墓が複数見つかっており、人骨や副葬品が出ました。等々力不動尊のそばには、古くからの修行の場「不動の瀧」があり、その「滝音がトドロク」が、等々力の地名になった等、諸説あります。この地形が、様々な時代の人を引き寄せてきたのです。
■等々力 1-22-26「等々力」駅下車3分



② 上野毛自然公園

木立を縫って階段を上れば、国分寺崖線沿いの自然が四季の情景を見せてくれます。
■上野毛2-17-19



③ 丸子川

小川と呼びたくなる流れに架かる、小さな橋が印象的。

日本最大級の
帆立貝形古墳の
野毛大塚古墳

世田谷物語 22

玉川野毛町公園内にある野毛大塚古墳は、野毛古墳群の中心となる五世紀初頭に築かれた大型の古墳です。真上から見ると帆立貝の形をしていて、この形の古墳としては、「日本最大級!」(全長82m)です。江戸時代後期の旅行ガイドブックともいえる『新編武蔵風土記稿』に「東大塚(あずまおつか)」として紹介され、当時から観光名所として知られていました。明治時代から昭和初期にかけては、頂上に祠が祀られ、「吾妻神社」として人々の信仰を集めました。その後、戦前には「等々力ゴルフリンクス」となり、古墳の前方は打ちっ放しのティーグラウンドとなっていたようです。等々力溪谷入口の「ゴルフ橋」の名前は、ここからきています。
■野毛1-25-1 「等々力」駅下車10分

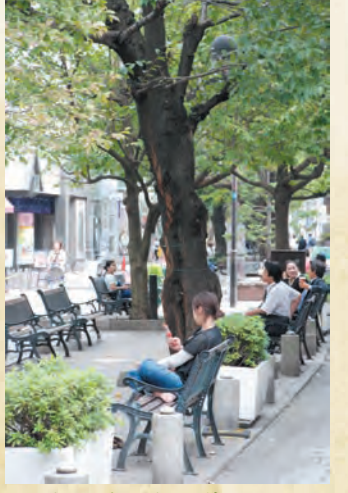
⑤ 等々力不動尊

谷沢川に落ちる「不動の瀧」の傍らにある、不動明王が祀られた霊場です。
■等々力1-22-47



9体の仏様の
珂碩上人の願いももった
世田谷物語 23

大きく枝を広げるイチヨウの古木が悠久の時の流れを想わせる浄真寺の境内です。5ページに登場した世田谷城にまつわる「さぎ草悲話」。その主人公常盤姫の実家・大平氏の居館、奥沢城がここにありました。江戸時代初め、草深い奥沢村のその城跡に、立派な伽藍の寺院が建ちました。開基は珂碩(かせき)上人という高僧です。上人は九品仏像造立を一生の念願とし、弟子と共に51歳の時ついに彫り上げました。そして9体の大切な阿彌陀如来像を3体ずつ安置する、三仏堂などの造営が完成し、江戸庶民に「九品仏」と親しまれる大寺になりました。保存する建造物や仏像など貴重な文化財は数多く、また都無形民俗文化財である3年に一度の「二十五菩薩来迎会(お面かぶり)」は有名です。
■奥沢7-41-3 「九品仏」駅下車2分



① 九品仏川緑道

九品仏川緑道沿いは、ベンチが並ぶ憩いの場所です。通り沿いにはお洒落なカフェやお花屋さんもあります。



③ 宇佐神社

坂の途中にある神社。源頼義の伝説もあり、本殿の裏山は、八幡塚古墳という6世紀頃の豪族の墓といわれています。
■尾山台2-11-3



わらの大蛇
疫病を鎮めて見守る

奥沢神社 24

神社の鳥居に巻きついたその姿に驚きますが、これは奥沢を守る大蛇。江戸の頃、疫病が流行った時、村の名主の夢に八幡様が現れて「わらで大蛇を作ってかつぎ、村中を練り回れば流行り病は止む」と告げました。さっそく言われたとおりになると疫病はおさまったといえます。以来氏子が技術を伝承し、毎年秋の取入れが済むと新しいわらで大蛇を作ります。お練りが終わると社殿に奉納し、前年のものを鳥居に飾り付けます。毎年9月第2土曜日の例祭に行われるこの厄除け行事「大蛇のお練り」は、区無形民俗文化財です。
■奥沢5-22-1「奥沢」駅下車2分



④ 東玉川神社

1605年頃の社殿は、区の登録有形文化財に指定されました。向拝殿の天井には見事な火焰龍神像が水墨で描かれています。
■東玉川11-32-9

